

登録日 2010/5/18

登録番号 Cer010

腫瘍名 子宮頸がん

申請診療科 産婦人科

### 投与スケジュール

PTX+CDDP+RT(Outpatient)				7日毎 × 5~7コース	
				1コース	2コース
				1 2 3	8 ... (day)
①	デキサート	9.9 mg	点滴 15分	↓	↓
	パロノセトロン	0.75 mg		↓	↓
	ポララミン	5 mg		↓	↓
	ファモチジン	20 mg		↓	↓
	生理食塩水	50 mL		↓	↓
②	バクリタキセル	50 mg/m <sup>2</sup>	点滴 60分	↓	↓
	5%ブドウ糖	250 mL		↓	↓
③	シスプラチン	30 mg/m <sup>2</sup>	点滴 90分	↓	↓
	生理食塩水	500 mL		↓	↓
③'	ラシックス	20 mg	静注	↓	↓
	(③のシスプラチンの投与直前に投与)			↓	↓
④	ソルアセトD	500 mL	点滴 60分	↓	↓
⑤	ソルデム3A	500 mL	点滴 60分	↓	↓
	Radiation	Gy/日		■	■

### 注意事項

#### 【開始適応基準】

年齢20~70才、化学療法の既往なし、Stage I b2以上、PS:0~1、Neutro:1500以上、Plt>15万、Hb>9.0、T-Bil<1.5、AST/ALT<100、Cr<1.2、Ccr≥50

#### 【化学療法適応基準】

(投与前日に)PS:0~1、Neutro:500~1000以上、Plt≥5万、Hb≥8.0、T-Bil<1.5、AST/ALT<100、Ccr≤1.2、体温<38.0℃、下痢≤Grade1、非血液毒性≤Grade2

Grade4の好中球減少、血小板減少が発現した際には化学療法中止

Grade3の副作用が発現した際には、上記を満たした時点でPTXを40mg/m<sup>2</sup>で投与する。

その後、再度上記を満たさない場合は化学療法中止

#### 【放射線治療継続基準】

Neutro>500 残りの項目は化学療法と同様

#### 【外来治療の適格症例】

PS良好、コンプライアンス良好、外来投与希望など

治療開始の設定:ケモ室の枠が5時間とれる日、放射線科の15時以降の枠がとれる日。

#### 【飲水指示】

Day1: OS1 500mLを3本購入。1本は点滴開始前までに飲用。

残り2本は点滴終了から2時間に1本ペースで飲用。

Day2: OS1 1L以上を飲用。

Radiation therapy with concomitant paclitaxel and cisplatin chemotherapy in cervical carcinoma limited to the pelvis:

A phase I / II study of the Gynecologic Oncology Group Gynecologic Oncology 103(2006)1038-1042